

## 学習課題（小学校5年生）



【国語】計画を立てて、少しずつ取り組んでいきましょう。

### <学習内容>

◆「和語・漢語・外来語（教科書 58～59 ページ）」に取り組めます。

- (1) 教科書 58 ページ上段の文章①と文章②を声に出して読みましょう。
- (2) 文章①と文章②は同じ情報を伝える文章です。読み比べて、どのような印象の違いを感じましたか。ノートや取組シートに自分の考えを書きましょう。
- (3) 教科書 58 ページの下段から 59 ページの上段まで、声に出して読みましょう。また、和語・漢語・外来語について、それぞれどのような言葉なのかをノートや取組シートにまとめましょう。
- (4) 教科書 59 ページの㊦の問題に取り組めます。それぞれの言葉の読み方と意味の違いを辞典で調べてノートや取組シートに書きましょう。  
※辞典が自宅にないときは、予想を書いておき、学校に登校したら、学校の辞典で確認してみましょう。
- (5) 教科書 59 ページの㊧の問題に取り組めます。下の表の例のように、見つけた言葉やその言葉を見つけた文章を表に整理してノートや取組シートに書きましょう。

（表の例）

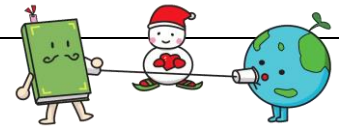
外来語	漢語	和語	
・ ・ ・ プール (○○○ <input checked="" type="checkbox"/> 鑑)	・ ・ ・ 混雑 (○○○新聞)	・ ・ ・ ふるさと (○○○の教科書)	・ 言葉 (見つけた文章など)

◆進出漢字「査」～「士」をノートや取組シートに練習します。  
（読み方や筆順などは、287 ページに載っています。）

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

- ・(5)では、たくさんの言葉を見つけられるように、「この本から探してみたら」と文章を紹介したり、「この言葉って、外来語かな？」と言葉を紹介したりしてあげてください。

【社会】



＜学習内容＞「わたしたちの生活と食料生産」

◆「わたしたちの生活と食料生産」（教科書 70～75 ページ）について、取組シートやノートにまとめよう。

ことば（教科書 P70）

(1) ( ) に言葉を入れて水田についての説明を完成させよう。

( ) をつくるために、水を入れた ( ) のことを水田とよびます。日本では、同じ6月でも、場所によって ( ) をしたり、稲かりをしたりする違いがあります。

(2) 教科書 74～75 ページを参考<sup>さんこう</sup>に、日本で畜産<sup>ちくさん</sup>がさかんな都道府県を5つ書きましょう。

(3) 教科書 72 ページの④日本の主な農産物の生産額の変化のグラフから、米の生産額はどのように変わってきていると言えますか。また、それはなぜですか。自分の考えを書いてみよう。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・我が国の食料生産は、土地や気候の特色と深く関係しています。「1. わたしたちの国土」の学習と深く関わるため、教科書ではこのような順番になっています。食卓にならぶ食材の産地とその産地の現在の気候を関係付けると実感がもてます。

【算数】

「※」は、学習する時のアドバイスです。

<学習内容>

◆小数のかけ算(教科書 44 ページ～)

※□にいろいろな数をあてはめて考えるとことだよ。

1mの値段が80円のリボンがあります。このリボン□mの代金は何円でしょう。

もし、□=2だったら？

もし、□=3だったら？

式  答え

式  答え

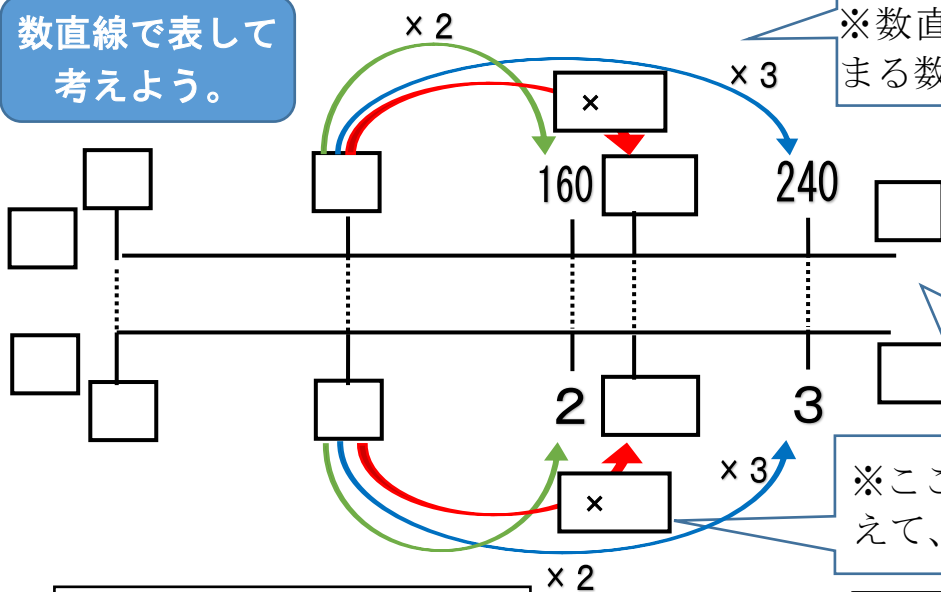
もし、□=2.3だったら？



今まではかける数が整数だったけど、小数になっているね。

リボンの長さが小数だけど、どんな式や計算で考えればいいのか。

数直線で表して考えよう。



※数直線の□に当てはまる数や言葉を書こう。

※右はじの□には単位が入るよ。上の数直線は代金、長さ、どちらを表しているかな。

※この数をもとに考えて、式をたてよう。

式

だったら



80×2.3を整数×整数に変身させて計算できるかな？



リボンの長さが **小数** で表されていても、その代金を求めるには、**整数** の時と同じようにかけ算の式に表します。

<自分の考え（どうやって整数に変身させられるかな）>

下のアのように変身させた人がいたよ。どう考えたのかな。

$$80 \times 2.3 = \square$$

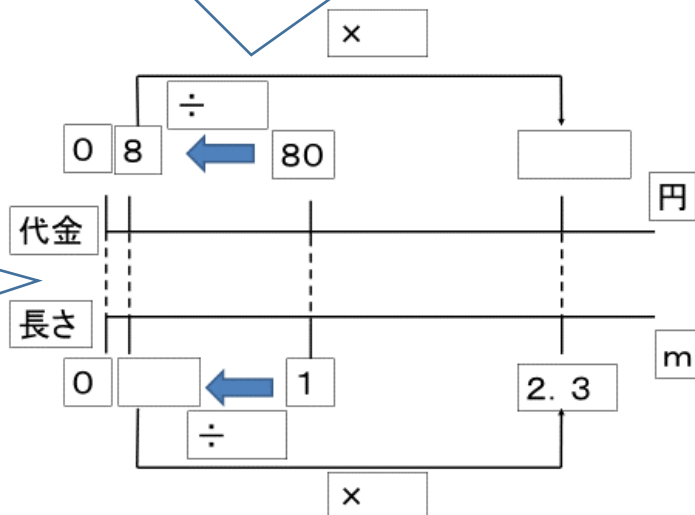
↓  $\div$       ↓  $\times$

$$\text{ア } 8 \times 23 = \square$$

0.1mの代金      0.1mが23こ

等しい

※下の数直線で表すとどうなるかな。□に当てはまる数を入れよう。



※アの式と、この数直線のどこがつながっているか、よく見て、完成させよう！

下のイのように変身させた人がいたよ。どう考えたのかな。

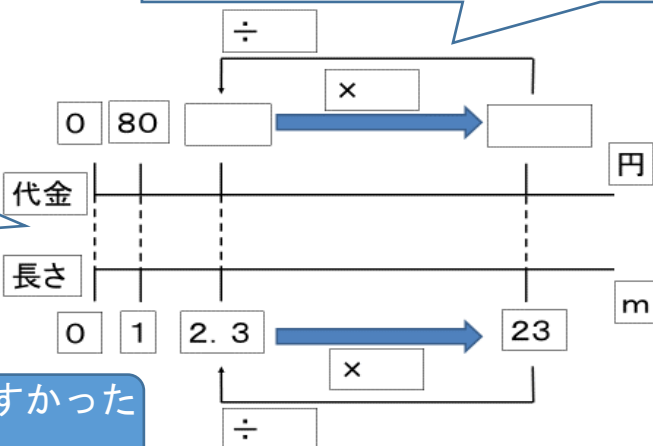
$$80 \times 2.3 = \square$$

↓  $\times$       ↓  $\div$

$$\text{イ } 80 \times 23 = \square$$

23mの代金

※下の数直線で表すとどうなるかな。□に当てはまる数を入れよう。



※イの式と、この数直線のどこがつながっているか、じっくり考えながら完成させよう！

アとイのどちらの考えがやりやすかったかな。学習のふり返りを書こう。

.....

.....

.....

- ・ 今まで学習してきた整数×整数に直して考えることが大切になります。また、今後に向けては、数直線の見方や使い方も計算の学習を充実させることになります。

## 【理科】

### <学習内容>

◆ 「植物の発芽と成長」（教科書 33～35 ページ）を読んで、植物が成長する条件を調べます。【実験 3】

- ① 日光や肥料が植物の成長と関係しているか、実験で調べます。教科書 33 ページの実験 3 を読んで、実験方法を確認しましょう。
- ② 教科書 34 ページの結果の写真を見て、条件によるインゲンマメの成長の様子の違いを、取組シートやノートに整理しましょう。

	㊦日光に当てる	㊧日光に当てない
成長の様子のちがい		

	㊨肥料をあたえる	㊩肥料をあたえない
成長の様子のちがい		

- ③ 結果をもとに、植物の成長に必要な条件についてまとめましょう。

### 【動画を参考にみるのもよいでしょう】

NHK for School 「肥料をあたえた方が大きく育つ？」

[https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das\\_id=D0005302076\\_00000&p=box](https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005302076_00000&p=box)



NHK for School 「大きく育つのに日光は必要？」

[https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das\\_id=D0005302075\\_00000&p=box](https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005302075_00000&p=box)

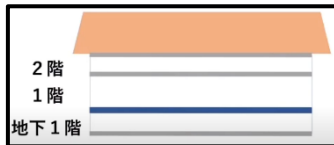
### <保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

- ・ この学習では、実験の条件を自分で考えることを大切にしています。
- ・ 「どのような天気のとときによく育つか」「養分は、どこからとるのだろうか」など、植物がより育つために必要なことに気付くよう声をかけてあげてください。

【外国語】

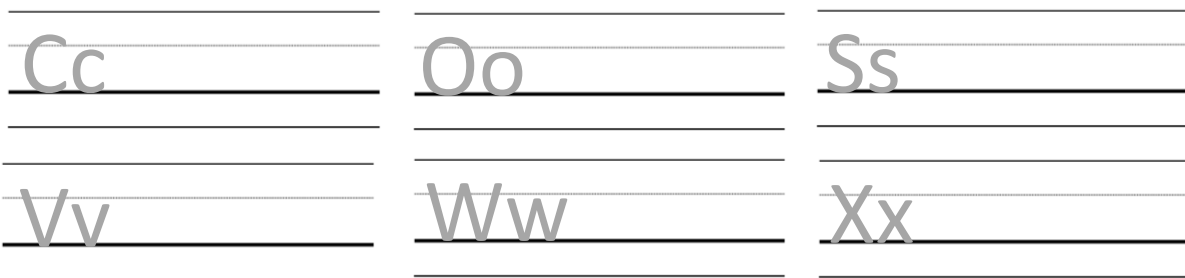
＜学習内容＞ ◆今週はアルファベットの小文字を書いてみましょう。

★「動画」を使える人は、見ながら書いてみましょう。



4線を家に見立てて  
取り組みましょう。

(1) 同じ形をしている大文字と小文字をなぞり横に書いてみましょう。

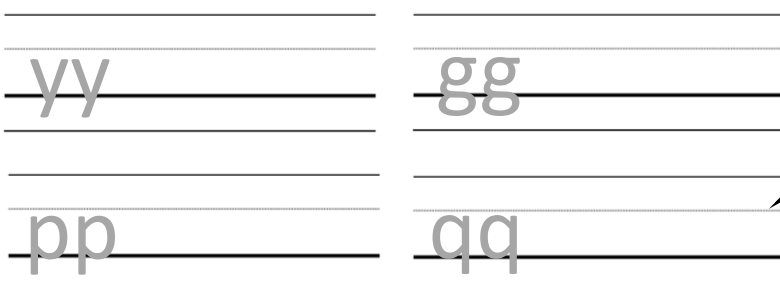


(2) 1階と2階を使う小文字を書いてみましょう。



lの大文字はLです。

(3) 地下1階と1階を使う小文字を書いてみましょう。



qの大文字はQです。



QRコードが読み取れない場合はURLを入力してください。 [https://youtu.be/HGqynIjH\\_wM](https://youtu.be/HGqynIjH_wM)

＜保護者による関わり方のポイント＞

■学習補助教材動画を配信しています。必要に応じてご活用ください。  
小学校、中学校で共通して学習する内容を紹介しています。

[http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/english\\_hojo.html](http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/english_hojo.html)

＜配信内容＞

「一日の生活」「乗り物」「味」「衣類」「一日の時間・文房具」  
「教科」「状態」「職業」「月」「序数（日付）」「名前の書き方」  
「アルファベットの大文字・小文字」「食べ物」「スポーツ」「国」「色」などもあります。



※「取組シート（外国語）」は、札幌市教育委員会ホームページからダウンロードすることができます。



## 【たいいく】

けがをしないよう、まわりをよくたしかめてと<sup>と</sup>り<sup>く</sup>組み<sup>ま</sup>し<sup>ま</sup>し<sup>よ</sup>う。道<sup>どう</sup>具<sup>ぐ</sup>をつ<sup>か</sup>う<sup>と</sup>きは、か<sup>もの</sup>たい<sup>もの</sup>物<sup>あ</sup>ん<sup>ぜん</sup>ぜ<sup>ん</sup>んにおこ<sup>な</sup>い<sup>ま</sup>し<sup>よ</sup>う。

### <べんきょうすること>

※動<sup>どう</sup>画<sup>が</sup>を見<sup>み</sup>ら<sup>れ</sup>る<sup>ば</sup>い<sup>ば</sup>い<sup>は</sup>は、右<sup>みぎ</sup>のQR<sup>こーど</sup>コード<sup>つか</sup>を使<sup>つか</sup>っ<sup>て</sup>く<sup>だ</sup>さ<sup>い</sup>。

[http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/home\\_karada\\_.html](http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/home_karada_.html)



◆「動<sup>どう</sup>物<sup>ぶつ</sup>歩<sup>ある</sup>き」に<sup>と</sup>り<sup>く</sup>組み<sup>ま</sup>し<sup>ま</sup>し<sup>よ</sup>う。

- (1) ①く<sup>ま</sup>あ<sup>る</sup>き、  
②ア<sup>あ</sup>ザ<sup>ざ</sup>ラ<sup>ら</sup>シ<sup>し</sup>あ<sup>る</sup>き、  
③う<sup>さ</sup>ぎ<sup>と</sup>び、  
④ク<sup>く</sup>モ<sup>あ</sup>る<sup>き</sup>に<sup>ち</sup>ャ<sup>れ</sup>ん<sup>じ</sup>チャレンジ<sup>し</sup>て<sup>み</sup>ま<sup>し</sup>よ<sup>う</sup>。

(2) あ<sup>る</sup>く<sup>は</sup>や<sup>い</sup>速<sup>さ</sup>や<sup>か</sup>い<sup>す</sup>回数<sup>かいすう</sup>、し<sup>せ</sup>い<sup>な</sup>ど<sup>を</sup>変<sup>か</sup>えて<sup>ち</sup>ャ<sup>れ</sup>ん<sup>じ</sup>Challenge<sup>し</sup>て<sup>み</sup>ま<sup>し</sup>よ<sup>う</sup>。

(3) ほ<sup>か</sup>の<sup>し</sup>せ<sup>い</sup>姿<sup>せい</sup>勢<sup>せい</sup>も<sup>かん</sup>が<sup>ち</sup>ャ<sup>れ</sup>ん<sup>じ</sup>考<sup>かん</sup>えて<sup>ち</sup>ャ<sup>れ</sup>ん<sup>じ</sup>Challenge<sup>し</sup>て<sup>み</sup>ま<sup>し</sup>よ<sup>う</sup>。

### ① く<sup>ま</sup>あ<sup>る</sup>き ② ア<sup>あ</sup>ザ<sup>ざ</sup>ラ<sup>ら</sup>シ<sup>し</sup>あ<sup>る</sup>き



ひ<sup>ざ</sup>も<sup>ゆ</sup>が<sup>に</sup>つ<sup>け</sup>な<sup>い</sup>で<sup>あ</sup>る<sup>こ</sup>う!



足<sup>あし</sup>は<sup>ち</sup>から<sup>を</sup>↓<sup>た</sup>げ<sup>い</sup>て

手<sup>て</sup>だ<sup>け</sup>で<sup>す</sup>す<sup>も</sup>う!

### ③ う<sup>さ</sup>ぎ<sup>と</sup>び ④ ク<sup>く</sup>モ<sup>あ</sup>る<sup>き</sup>



手<sup>て</sup>も<sup>ま</sup>え<sup>に</sup>つ<sup>く</sup>う!



お<sup>し</sup>り<sup>を</sup>あ<sup>げ</sup>よ<sup>う</sup>

### <保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・体<sup>てい</sup>つ<sup>く</sup>り<sup>う</sup>ん<sup>ど</sup>運動<sup>うんどう</sup>は、運<sup>うん</sup>動<sup>どう</sup>の<sup>たの</sup>し<sup>さ</sup>を<sup>あ</sup>じ<sup>わ</sup>い<sup>な</sup>が<sup>ら</sup>、体<sup>てい</sup>の<sup>き</sup>本<sup>ぽん</sup>質<sup>し</sup>的<sup>てき</sup>な<sup>う</sup>ぎ<sup>を</sup>身<sup>み</sup>に<sup>つ</sup>け<sup>て</sup>い<sup>く</sup>こ<sup>と</sup>を<sup>め</sup>じ<sup>め</sup>し<sup>て</sup>い<sup>ま</sup>す。また、自<sup>みづか</sup>分<sup>ぶん</sup>に<sup>あ</sup>い<sup>あ</sup>つ<sup>た</sup>運<sup>うん</sup>動<sup>どう</sup>の<sup>い</sup>か<sup>た</sup>を<sup>く</sup>わ<sup>い</sup>で<sup>き</sup>る<sup>よ</sup>う<sup>に</sup>す<sup>る</sup>こ<sup>と</sup>も<sup>た</sup>い<sup>せ</sup>つ<sup>に</sup>し<sup>て</sup>い<sup>ま</sup>す。
- ・失<sup>し</sup>敗<sup>ぱい</sup>し<sup>て</sup>も<sup>な</sup>ん<sup>ど</sup>も<sup>ち</sup>ャ<sup>れ</sup>ん<sup>じ</sup>し<sup>たり</sup>、時<sup>じ</sup>間<sup>かん</sup>や<sup>きょ</sup>り<sup>り</sup>を<sup>か</sup>へ<sup>る</sup>な<sup>ど</sup>の<sup>し</sup>か<sup>た</sup>を<sup>し</sup>たり<sup>す</sup>る<sup>さ</sup>を、ぜ<sup>ひ</sup>ほ<sup>め</sup>て<sup>い</sup>た<sup>だ</sup>き<sup>たい</sup>と<sup>お</sup>い<sup>い</sup>ま<sup>す</sup>。